

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2024 年 6 月 28 日

富山県知事
新 田 八 朗 殿

提出者 日本曹達(株)生産本部高岡工場
住 所 富山県高岡市向野本町300番地
氏 名 日本曹達株式会社代表取締役社長 阿賀 英
同上代理人 執行役員高岡工場長 瀬下 敦寛
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0766-26-0251

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2023年度の産業
廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

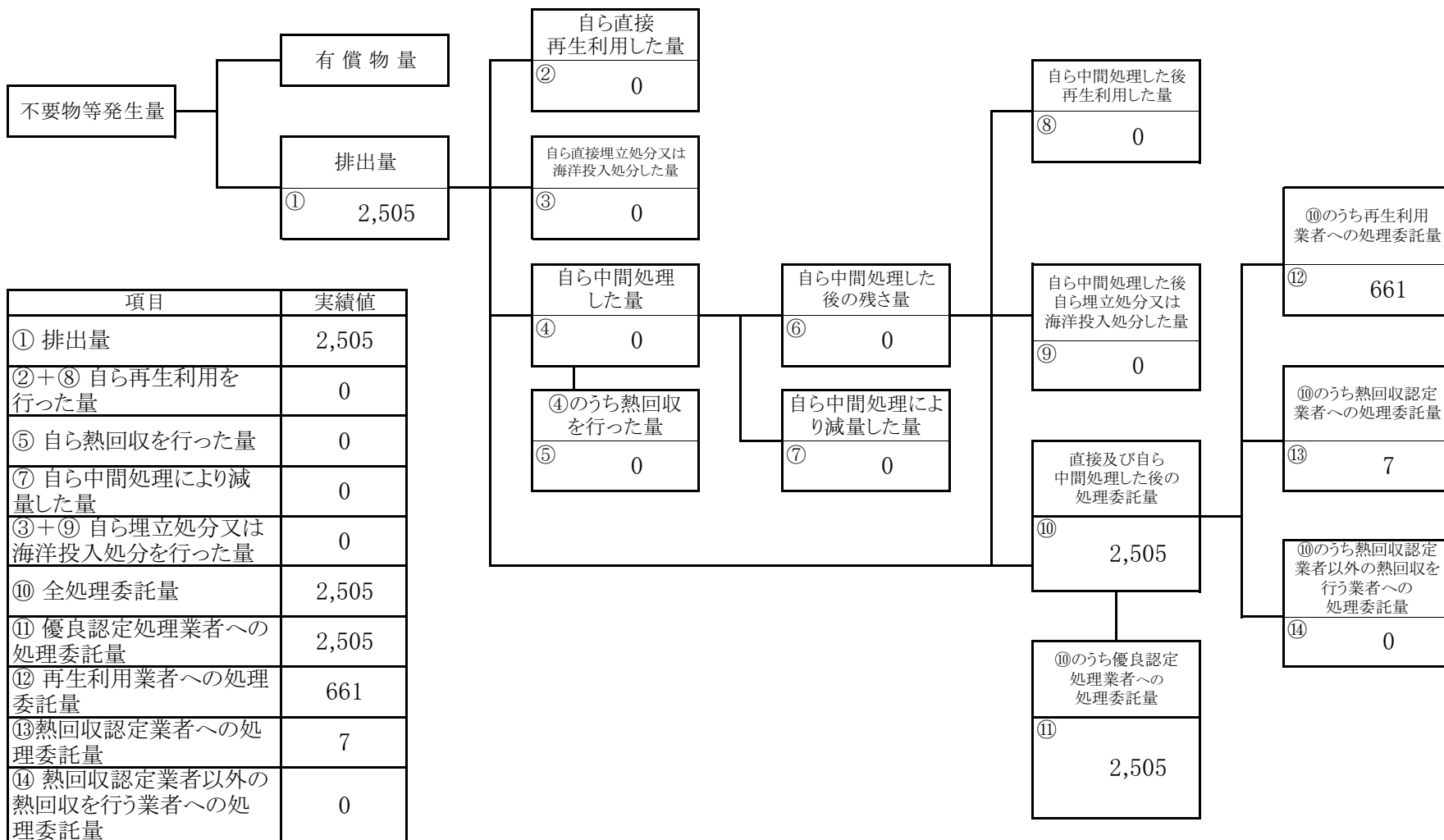
事 業 場 の 名 称	日本曹達株式会社生産本部高岡工場
事 業 場 の 所 在 地	富山県高岡市向野本町300番地
事 業 の 種 類	化学工業
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	4,405 t	全 処 理 委 託 量	4,405 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	4,260 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1,799 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	14 t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	5 t
※事務処理欄			

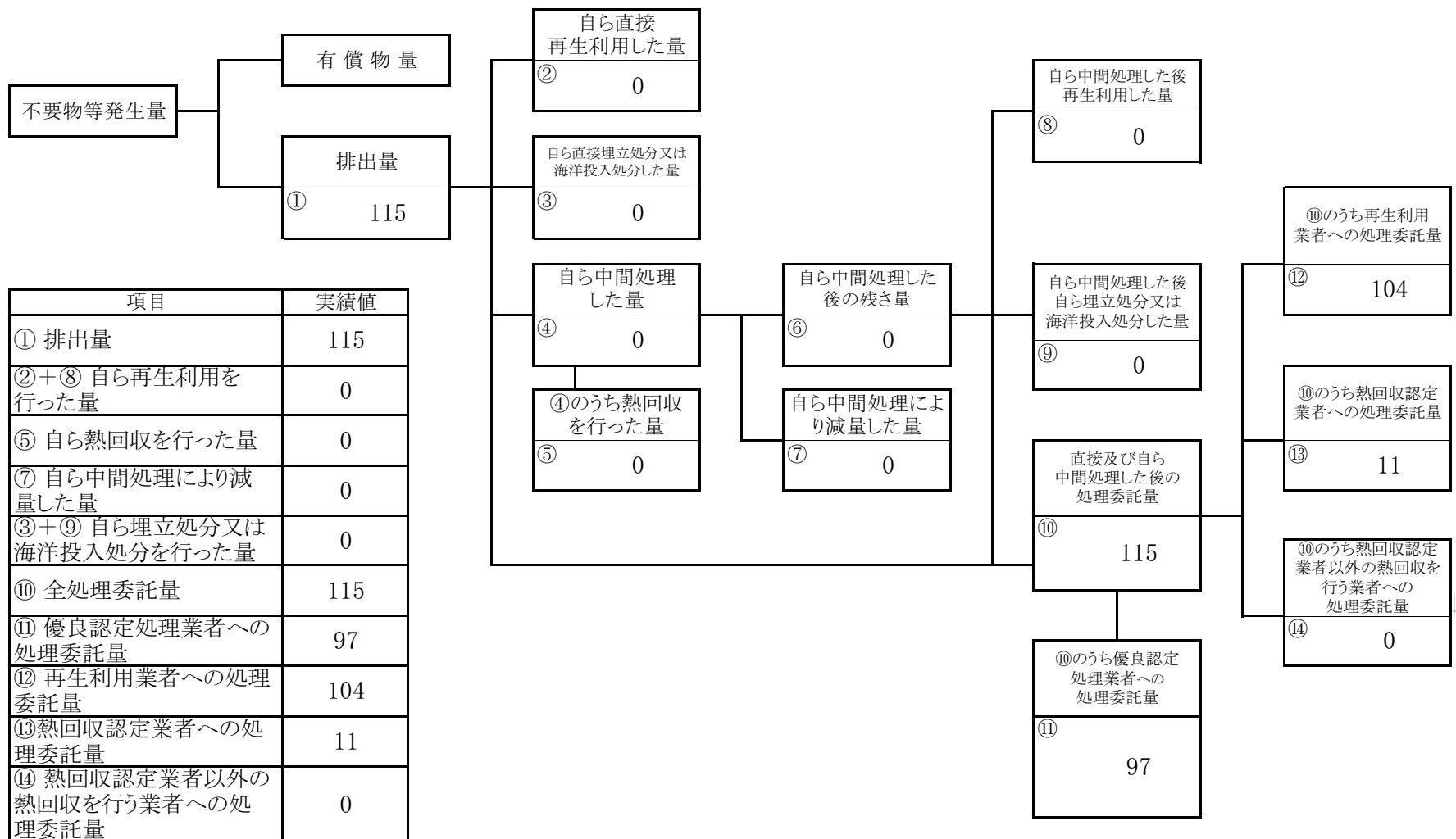
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 汚泥類)



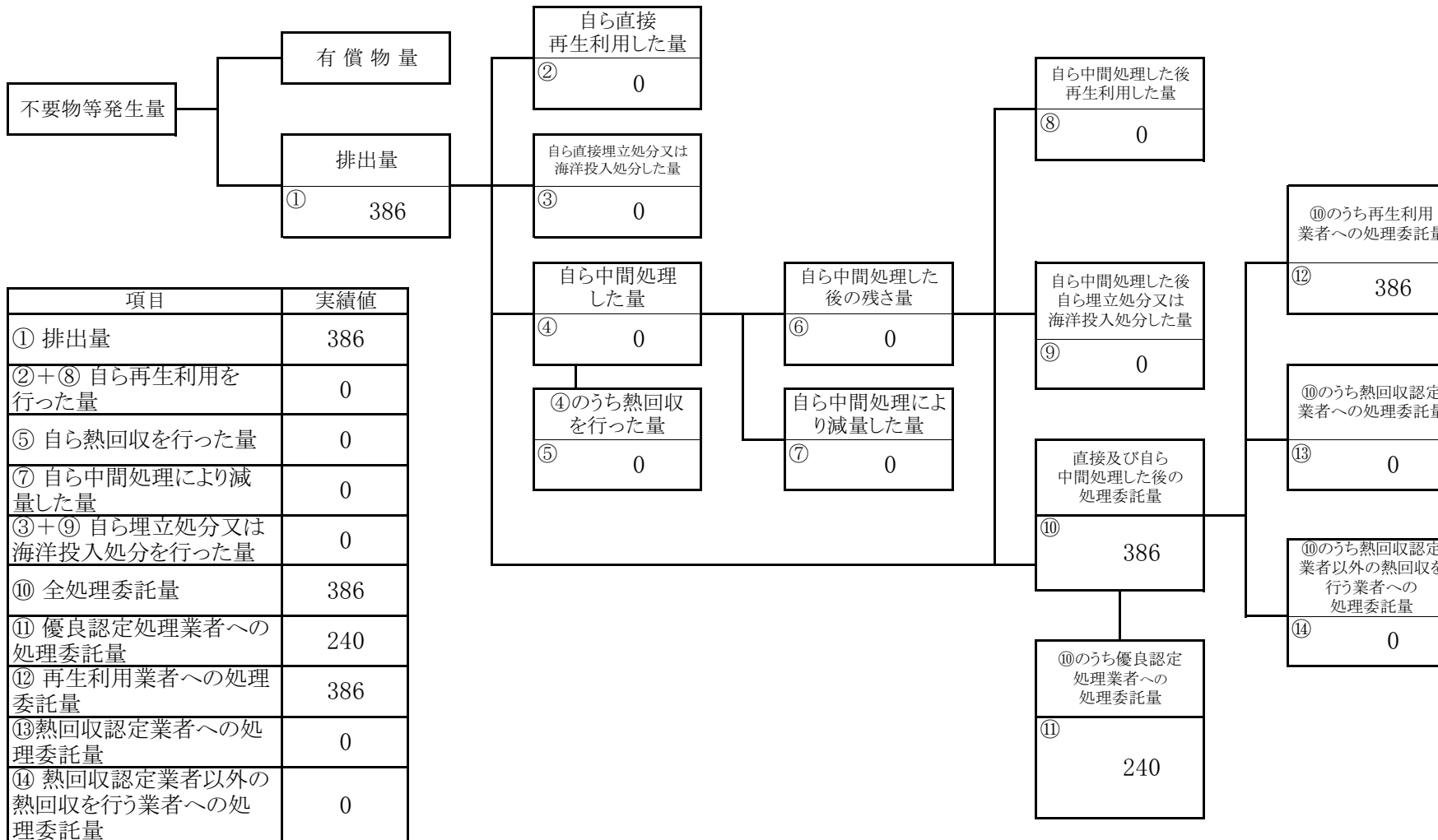
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラ)



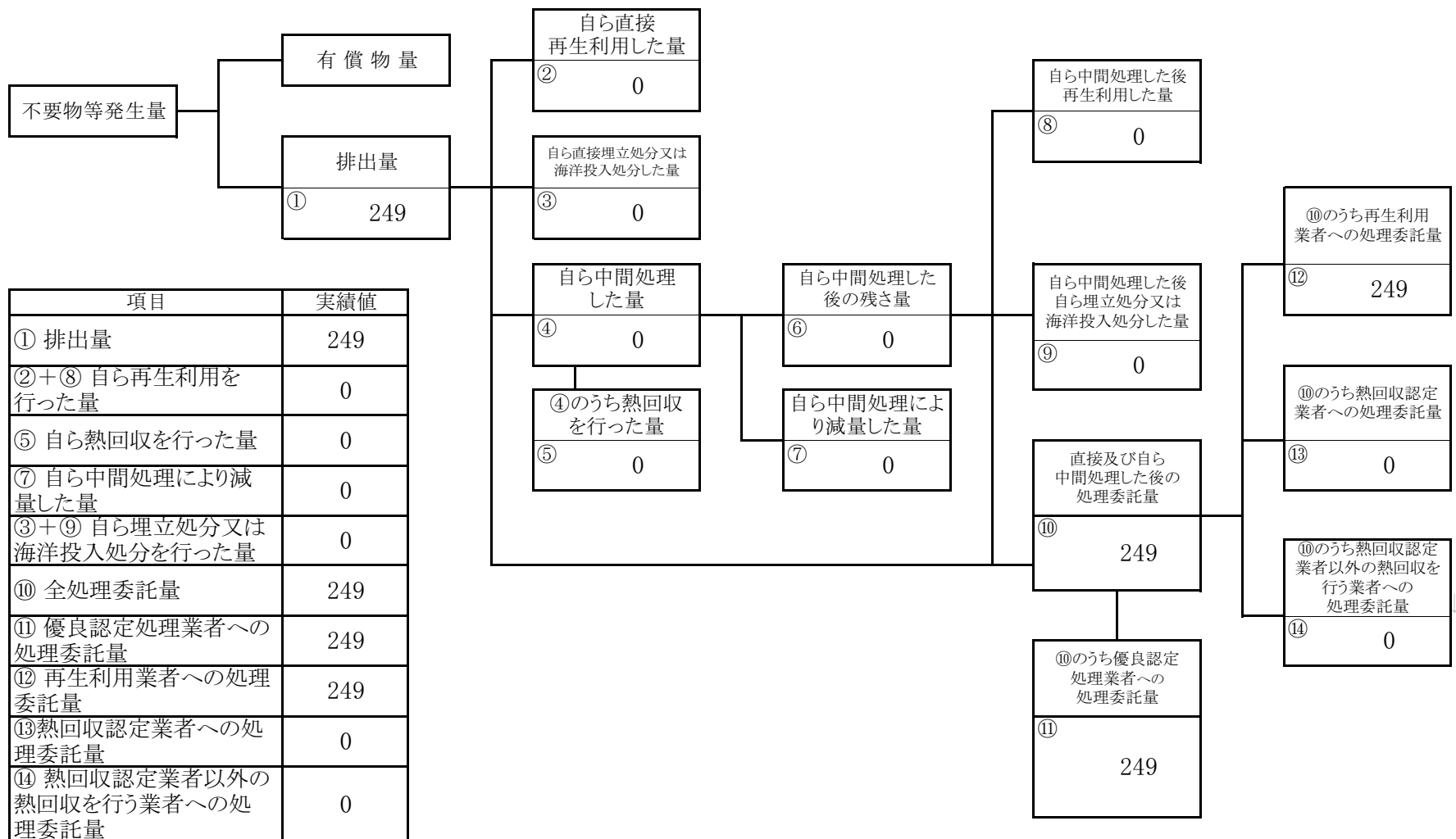
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃アルカリ)



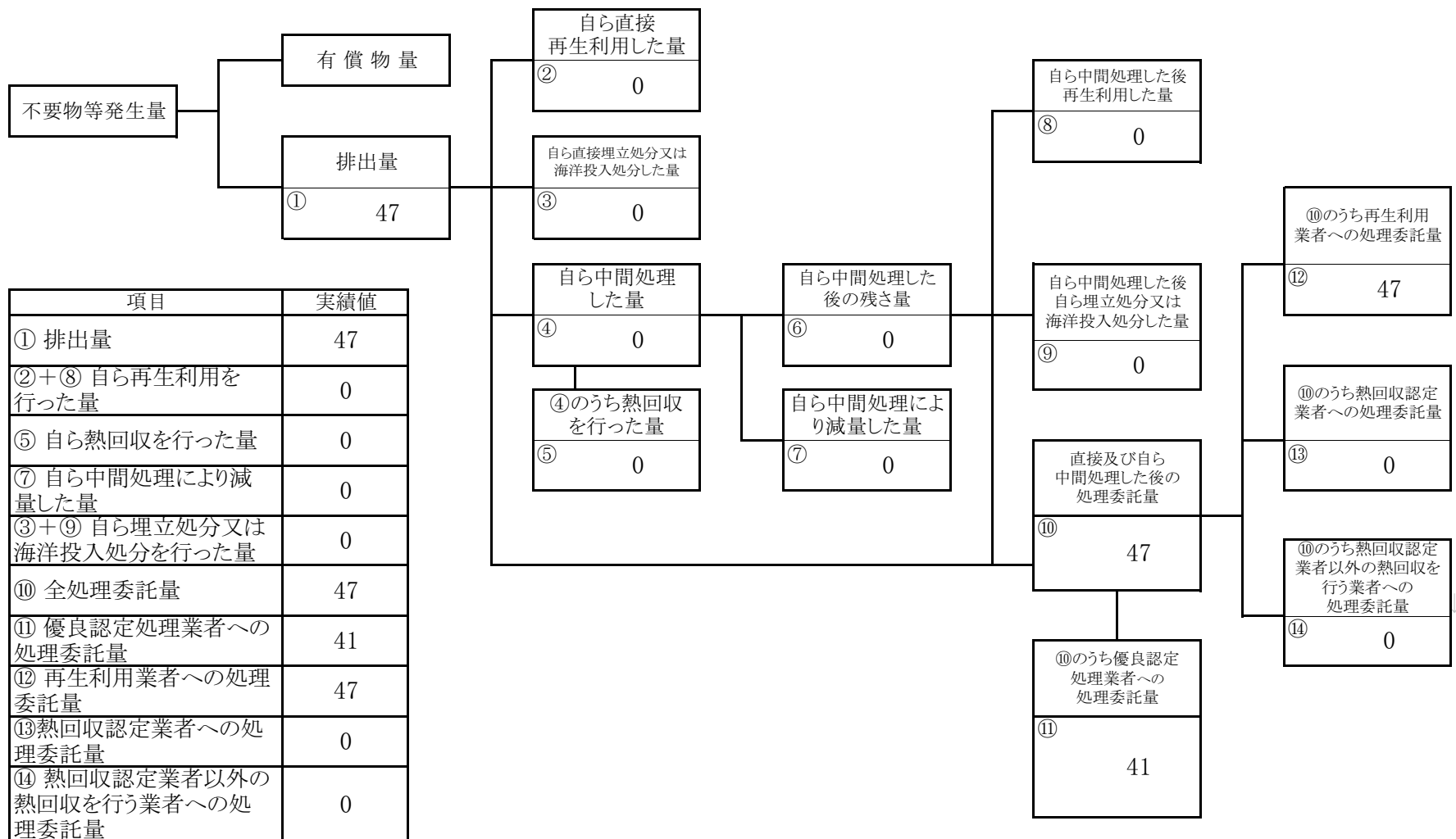
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃酸)



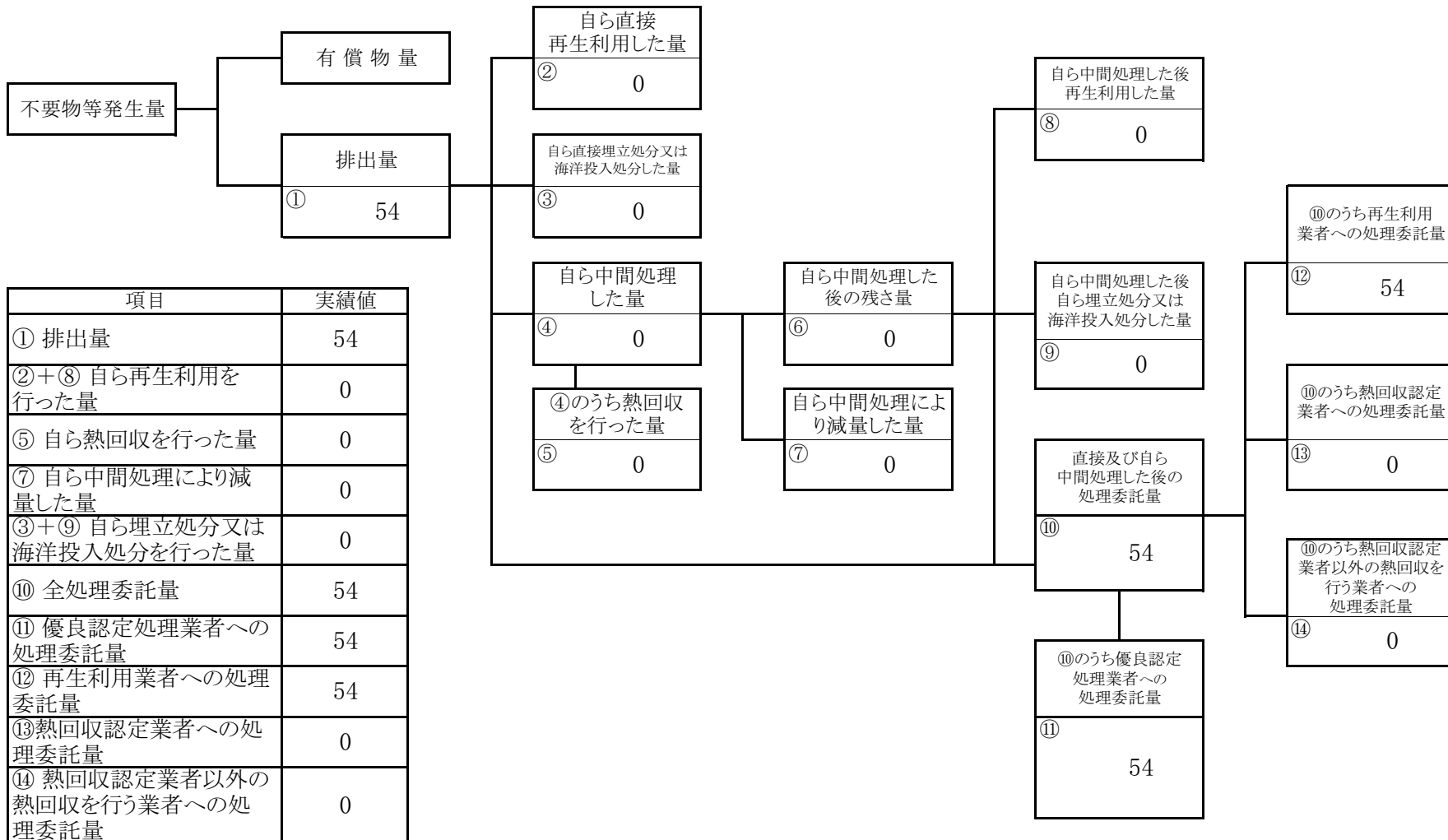
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃油)



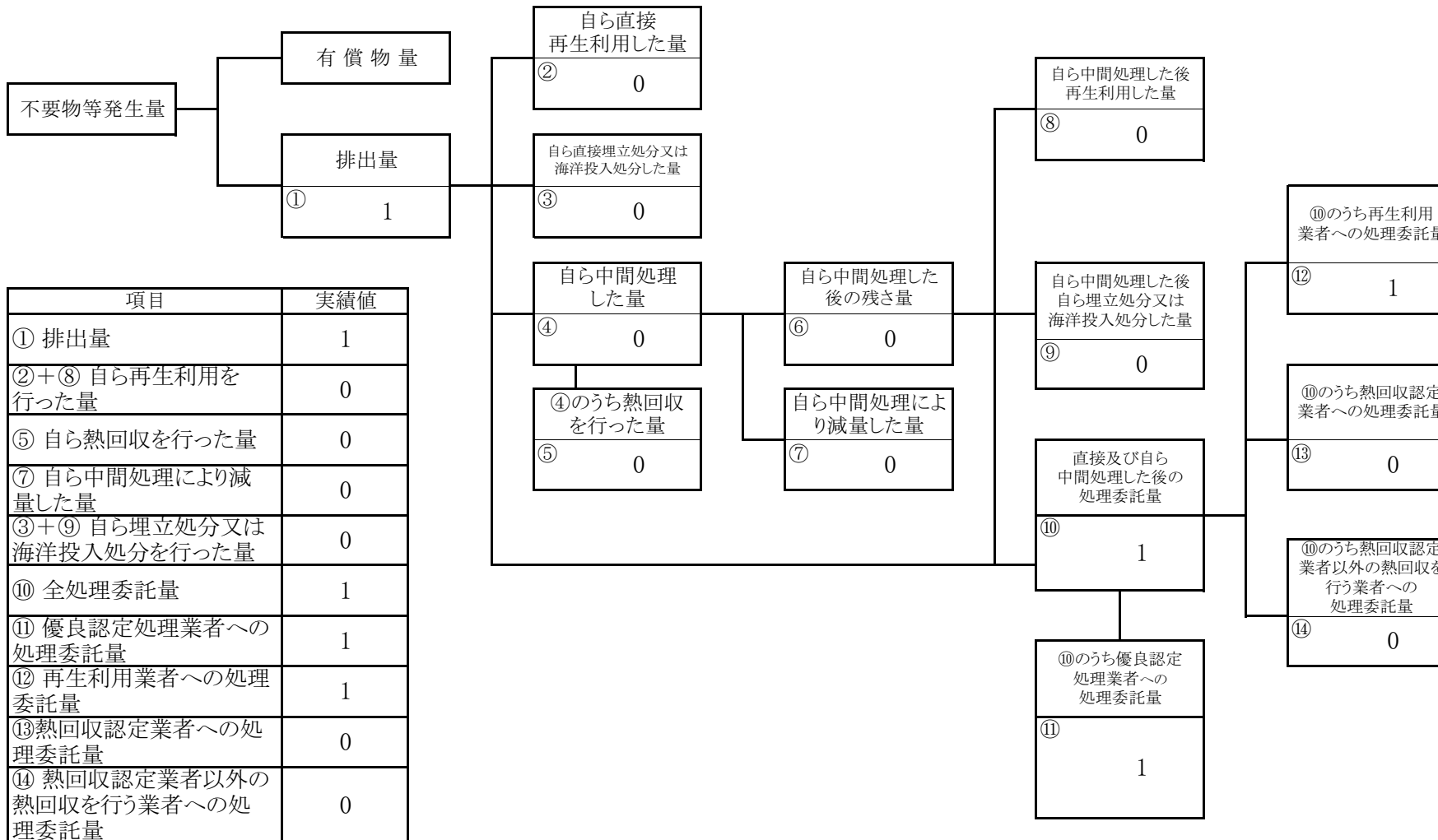
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 木くず)



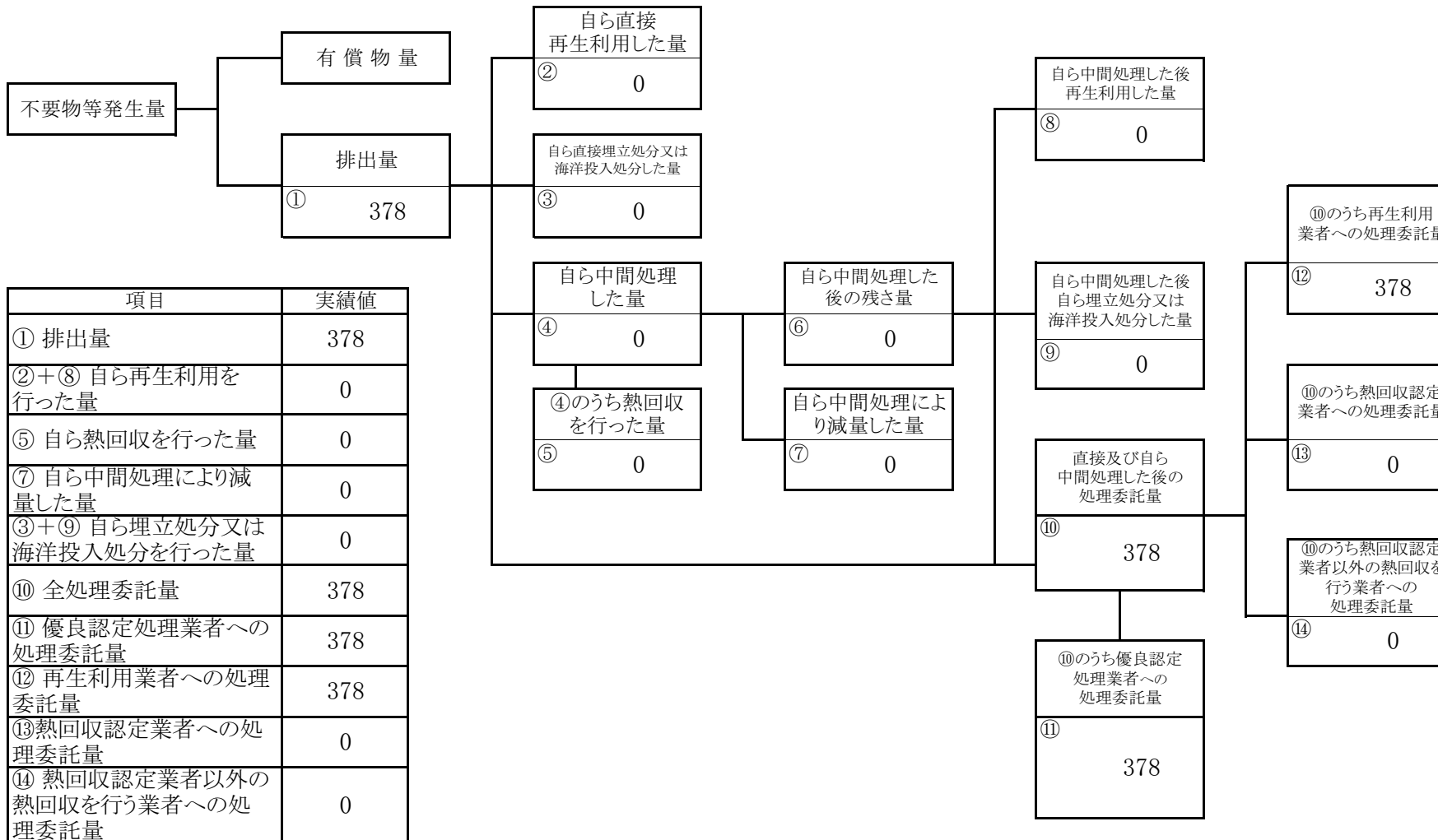
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 金属くず)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： がれき)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： がれき)

不要物等発生量

有償物量

排出量

① 4

自ら直接
再生利用した量

② 0

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③ 0

自ら中間処理
した量

④ 0

④のうち熱回収
を行った量

⑤ 0

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥ 0

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦ 0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧ 0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨ 0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩ 4

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪ 0

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫ 4

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬ 0

⑩のうち熱回収認定
業者以外の熱回収を
行う業者への
処理委託量

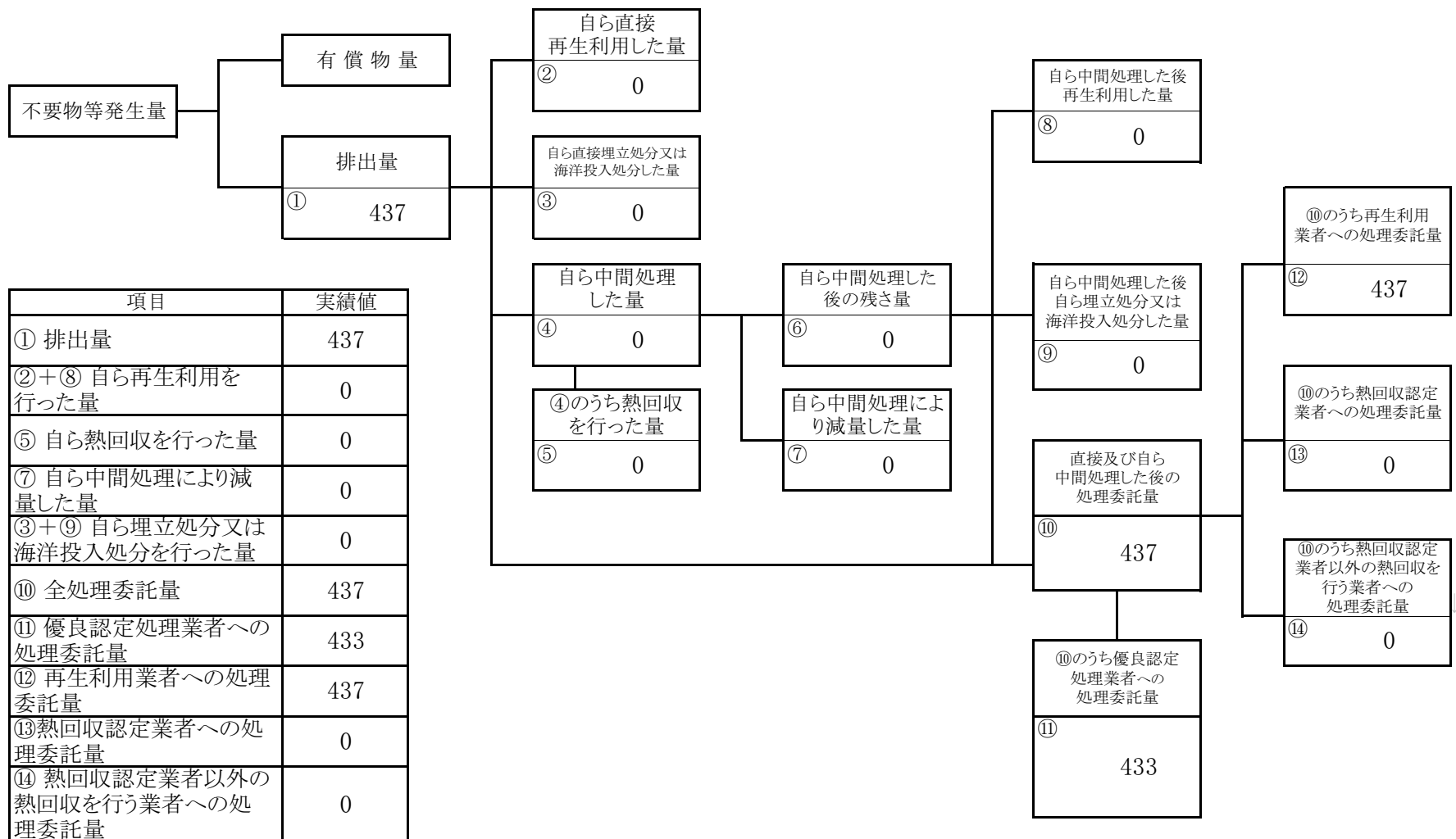
⑭ 0

項目	実績値
① 排出量	4
②+⑧ 自ら再生利用を行 った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減 量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	4
⑪ 優良認定処理業者への 処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理 委託量	4
⑬ 熱回収認定業者への処 理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	0

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 金属屑、木屑、ガラス屑、がれき類)



(様式第2号の9)産業廃棄物処理計画実施状況報告書 第2面(一覧)

別添
単位:トン/年

廃棄物の種類	排出量の目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接再生利用した量	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④自ら中間処理した量	⑤自己中間処理のうち熱回収を行った量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑫⑩のうち再生利用業者への委託量	⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
燃 え 殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚 泥	3,417	2,505	0	0	0	0	0	0	0	0	2,505	2,505	661	7	0
廃 油	40	47	0	0	0	0	0	0	0	0	47	41	47	0	0
廃 酸	163	249	0	0	0	0	0	0	0	0	249	249	249	0	0
廃 アルカリ	126	386	0	0	0	0	0	0	0	0	386	240	386	0	0
廃プラスチック類	150	115	0	0	0	0	0	0	0	0	115	97	104	11	0
紙 く ず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
木 く ず	102	54	0	0	0	0	0	0	0	0	54	54	54	0	0
織 維 く ず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴ ム く ず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金 属 く ず	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4	0	0
鉱 さ い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
が れ き 類	400	378	0	0	0	0	0	0	0	0	378	378	378	0	0
動物のふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ば い じ ん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	4,405	3,739	0	0	0	0	0	0	0	0	3,739	3,565	1,884	18	0.07

注1 産業廃棄物排出量の目標値 : 様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。

注2 計画の実施状況 : 様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。

注3 廃棄物の種類 : 19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。